事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年 11月 6日（　17：00　～　18：00　）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中島・濱田・国徳・百合野・道森・前島・平尾・次藤・福島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	9人	9人	18人

前回の改善計画

・アセスメントシートや連絡帳の情報共有の、職員間での格差を是正していく。新規利用の方の担当者を、利用開始前に決めるようにして、その担当者を中心として、情報共有が出来ているかのチェックを行う。管理者やケアマネは、担当者に協力し、職員間差の出ない様にしていく。
・可能な限り、事前面談の際には、介護職も同席出来るようにしく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・急遽、決定した利用者については、事前に担当決めることもできなかったし、事前面談もＣＭのみ参加等というケースもあり、改善計画の初歩の段階からつまずいた事の方が多かった。
・情報共有に関しては、職員間の考え方の違い、温度差があったりで統一したケアが出来る状態とは言い難かった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？			5人	13人	18人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2人	15人	1人		18人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	17人			18人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2人	14人	2人		18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ ミーティング時は、ＣＭが、持っている情報は、職員に伝えている。
・ アセスメントシートや連絡ノートには、その時点で入っている情報は記入されている。
・ 利用開始してからは、色々な情報を得ようと、各職員が努力している。
・ 利用者に馴染んでもらうように、という気遣いは出来ている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 利用者一人一人と向き合う時間が取りづらい。利用者に対しての職員数で考えると、そういう時間を作り出すことは難しい。
・ 新規利用者が入る度に、ミーティングを行う事は、勤務体制上難しいが、今後は、集まれる職員だけでも集めて、ミーティングを行う予定である。
・ 職員間の考え方の違い、レベル差、温度差は、なくなるものではない。しかし、差を少なくしていけることは可能である。繰り返し繰り返し、共通の認識を刷り込んでいくしかない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 利用者の方が入ってくるまでの手順は、昨年の改善計画でも挙げたが、達成出来ているとはいえない。
再度、事前面談への介護職の参加、担当者決め、情報共有が出来ているかのチェックを行っていく。
・ 新規利用者の方が利用始めて、一週間ぐらいの頃に、臨時ミーティングを開催し、情報収集、共有を図る。
勤務の関係上、少人数しか集められないとは思うが、先ずは行ってみることとする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年 11月 6日（　17：00　～　18：00　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	中島・濱田・国徳・百合野・道森・前島・平尾・次藤・福島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	9人	6人	18人

前回の改善計画

・前回の改善計画が出来ていない為、今回も同様な改善計画とする。
　気付きノートの保管場所を、目に入る場所に変え、存在を意識してもらう。
　声掛けに対する反応等を、記録する習慣を職員に植え付けていく（特にレクの人員が多い時）。
　記録を気付きノートにまとめて記入出来る時間を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 気づきノートの活用は、相変わらず出来ていない。利用者情報を、レクリエーションの際に引き出している場合もあるが、その情報をまとめて記載することが出来ていない。
・ 昨年よりも、利用者情報を収集しようとする姿勢は見えている。しかし、うまくまとまらず、共有も出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1人	2人	5人	10人	18人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？			5人	13人	18人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		1人	5人	12人	18人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		1人	5人	12人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ レクリエーションでの、利用者への質問、少し時間が出来た時の会話などで、情報収集は行えている。
・ 利用者の～したいという事は、把握出来ている。
・ 休憩時間などで、利用者の情報交換が行われている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ レクリエーション時の質問に対する返答などは、まだケア記録などに残りやすいが、それ以外の、休憩中の情報交換の会話、ちょっとした時間に職員間でやり取りした情報は、記録として残る事が、ほとんどなく、全職員の共有情報とならない。一部の職員の情報となってしまう。
・ 利用者の発言を、そのままではなく、記入者の解釈が入った記録にしてしまう。どうしても、言葉そのものは長くなりがちで、記録に残すには、短くまとめてしまうが、その際に、本来の意味と違ってしまう場合がある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 気づきノートを活用する為に、このノートに関しての、記入法、運用法に権限を持つ担当者を決めた。その職員を中心に、うまくノートの活用を軌道に乗せていく。
・ 業務の空き時間を、作り出し、記録を書く時間にしたいが、人間相手の仕事なので、計画通りにまとまった時間が作れるとは思えず。職員が協力し合い、少しづつでも記録に残せる量を増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年 11月 6日（　　17：00　　～　　18：00　　）
３．　日常生活の支援	メンバー	中島・濱田・国徳・百合野・道森・前島・平尾・次藤・福島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	13人	4人	1人	18人

前回の改善計画

・申し送りの精度を上げる。言葉による伝達は、どうしても変化したり（解釈の違い、表現の違い等）、途切れたりするので、連絡ノートを、今まで以上に活用し、伝達ミス、漏れを無くしていく。
・（２）と同様で、気付きノートの活用をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 連絡ノートは、しっかりと活用されているが、伝達ミスや漏れがなくなったとは言えない。文章を重視していこうという計画であったが、やはり言葉もうまく併用しないとうまく伝わらないという事がよく分かった。
・ 前項目でも記載したが、気づきノートは、ほぼ活用されていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		5人	11人	2人	18人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4人	14人			18人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		9人	9人		18人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	16人	1人		18人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		13人	5人		18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 本人の状況に合わせて、食事（刻み食・トロミをつける・食事介助を行う等）、入浴（機械浴にする・湯舟への入り方の工夫・立ち上がりの補助の為の台を湯舟に入れる等）、排泄（二人介助を行う・Ｐトイレの使用・おむつの使用等）を行っている。
・ 利用者の気持ちや体調の変化は、申し送り等で伝えられているし、記録にも残してある。
・ ミーティング（カンファレンス）で、利用者についての話し合いは行っている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 利用者の訴えに対して、「ちょっと待って下さい」と言ってしまう場面がある。特に、人手が不足する夜間、朝方、職員の休憩時には、訴えが重なった場合は、どうしても待たせてしまう場合がある。
・ 伝達ミス、漏れが以前より減ってきたとはいえ、根絶出来てはいない。まだまだ改善の余地がある。
・ ミーティングの時間、機会が不足している為、利用者一人一人について話し合い切れていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 気付きノートの活用を図る。前項目でも記入したが、担当者を決め、権限を与えて、記入法の改善、職員への記入要請を行ってもらい改善していく。
・ 伝達の漏れはなくしていく。確実に、連絡ノートには記入し共有できるようにする。間違ったニュアンスで伝達されないように、言葉での補足も可能な限り行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年 11月 6日（　　17：00　　～　　18：00　　）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	中島・濱田・国徳・百合野・道森・前島・平尾・次藤・福島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	10人	4人	人	18人

前回の改善計画

・レクリエーション、入浴、ヘルパーに入った際に、聞き出せた時は、気付きノートにしっかりと残すようにし、関わった職員以外にも情報共有されるようにしていく。
・民生委員の方や、地域資源に関しては、一部の職員しか関りがないような状況なので、多くの職員に絡んでもらい、把握してもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ レクリエーション、入浴、ヘルパーの際の、情報の聞き出しは、良く出来ている。ケア記録にも、「　」で発言を記録していたりする。しかし、それを、気付きノートにまとめるところまでには至っていない。
・ 本年度は、施設外の方との関わりは、コロナの影響でほとんど出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		12人	6人		18人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		12人	6人		18人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4人	11人	3人	18人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4人	11人	3人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 本年度は、コロナの影響で、家族との面会でさえ制限が掛かる状態であった。本施設は1階平屋建てであるので、家族とは、ガラス戸越しに、様子を見て頂いたり、ソーシャルディスタンスを保っての会話等で対応した。
・ 家族の来所時には、なるべく詳しく話をし、健康状態などを把握してもらうように心掛けた。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 独居の方の家での生活の様子は、ほとんど把握出来ていない。送り迎えや、わずかな時間のヘルパーに入る程度では関わっていない時間が長すぎ、様子は把握し切れない。実際に、独居の方が、夕方や夜に一人で外出し怪我をされるケースが発生している。
・ 民生委員や地域資源との関わりは、全くと言っていい程取れず。運営推進会議でさえも、1回行ったのみである。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 情報を、レクリエーション、入浴、ヘルパー時に集めようという意識は、ほとんどの職員が持っているし、年々出来ていっている。後は、みんなが閲覧しやすいようにまとめていく事が出来れば利用者の理解が、これまで以上に進む。気づきノートの活用が出来るようにしていく。
・ 来年度の状況にもよるが、民生委員の方や、地域資源の活用には力を入れていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年　11月　12日（　　17：00　～　　18：00　　）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中島・畑村・岡本・粟田・奥村・道森・平田・井町・藤田・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	9人	9人	18人

前回の改善計画

・利用者の方の歩行レベルが徐々に下がってきている。外出に車イスが必要な方が増えてきている。外に出ることが難しくなってきている現状を鑑みて、社協のボランティアの方等を、呼び込む方向にしていく。
・職員数を増やすことは難しいので、イベント参加等の外出の際には家族の協力を請う事にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 外に出れない要因が、内的なものではなく、外的要因（コロナの流行）になってしまった年であった。外部との関わりはほとんど出来ず。
・ 家族を呼ぼうにも、今年の状況では出来ず。イベント自体が、中止になってしまっていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			5人	13人	18人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人	15人	1人		18人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1人	17人			18人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	14人	2人		18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 家族のニーズに合わせて、泊りを増やしたり、本人の状態が良くないからと、通い、訪問を増やしたりと柔軟な対応が出来ていた。
・ 外出制限が緩くなった時には、施設の周りを散歩したりと、可能な限りは外出の機会を作った。
・ 体調の変化等は、申し送りで伝えて、対応するようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 本年度は、地域のイベントがほとんど中止になり、しかも、利用者の方の外出にも制限が掛かる事も多く、地域の資源との関りは作れなかった。
・ 歩行訓練（練習）等も取り入れたいが、時間がなかなか取れず、前向きなケアが行えていない。
・日々の変化は記録には残っているし、申し送りも行っているが、ミーティングでの話し合いはなかなか出来ていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 外部の環境が良くなっていれば、本年度行おうとしていた社協のボランティア等の呼び込みを行っていく。
・ 家族へのイベント等での協力も、外部の環境次第だが、要請して一緒に楽しんでもらうようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年　11月　12日（　　17：00　～　　18：00　　）
６．　連携・協働	メンバー	中島・畑村・岡本・粟田・奥村・道森・平田・井町・藤田・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	9人	6人	18人

前回の改善計画

・夏祭りに関しては、内容自体は好評であったので、来年度も、内容は大きく変えない。近隣の方の参加促しは行っていく。町内の掲示板にポスターを掲示させてもらったり、回覧板に掲載したり、6月の運営推進会議の時点でチラシ等を作成し、早めから、宣伝を行うこととする。
・イベント参加を促進する為に、職員に時間外手当を出し、短時間だけ手伝ってもらうことを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 夏祭りの近隣の方の参加は、コロナの影響で全くできず。内輪でのイベントになってしまったが、内容は好評で、利用者の方には、「楽しかった」等の言葉を頂けた。
・ 人員数の確保の為の、時間外出勤は、協力してくれた職員がいて、必要人員数を揃えることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	2人	5人	10人	18人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			5人	13人	18人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1人	5人	12人	18人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	5人	12人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ グループ内の医療機関やリハビリ職、訪問看護との連携は、良く取れていた。
　一つの拠点として、内科や訪問看護、リハビリ等が揃っている為、連絡や相談を出来やすい環境にある。
・ 利用者の方が付き合いのあった方に関しては、来所された際には、検温等を行い、面会して頂いた。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 今年の状況では、地域との連携は取りようがなかった。
　イベント自体が、ほとんど中止になり、こちらからも外出には制限が掛かっている状態であった。
・ 近隣の方も、来所する事に遠慮されており、訪ねてこられる方も少なかった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 来年度には、コロナの影響も軽減されているだろうから、積極的に地域との連携は図っていく。
・ 本事業所で行う行事にも、地域の方を呼び込むようにしていく。前回の改善計画で挙げていた点はそのまま、次回の改善計画とする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年　11月　12日（　　17：00　～　　18：00　　）
7．　運営	メンバー	中島・畑村・岡本・粟田・奥村・道森・平田・井町・藤田・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	8人	7人	18人

前回の改善計画

・ミーティングだけでなく、職員が発言できる場、意見を収集する機会を、今まで以上に増やす。
・公園掃除は、公園までの移動がネックになっているので、送迎車を利用し、移動の負担を減らす。事前の計画不足で実践が出来ていない現状なので、計画を早めに立てるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ ミーティングではよく意見が出ていた。それ以外での意見交換の場は、申し送りの時、ちょっとした空き時間、休憩時等があったが、全職員が参加している訳ではないので、話し合いといえるものではなかった。散発的な意見の収集になってしまい、まとめることが難しかった。
・ 公園掃除どころか、利用者の方を、外に出してあげることすら難しい年であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		8人	6人	4人	18人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		17人		1人	18人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		10人	3人	5人	18人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			5人	13人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 職員の意見交換がミーティングだけでなく、休憩時、申し送り時にも出来ている。
・ 家族クレームに即応出来ている。
・ 家族、利用者から希望があった嗜好品は、可能な範囲で提供するようにしている。
・ 地域の川掃除には、一名だけであったが、参加はした。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ いろんな意見は出てくるが、その時々の対応になったりして、まとめることが難しく、全員に周知させる事が出来ていないし、全職員の意見を反映したものではなくなっている。
・ 公園掃除、地域の祭りへの参加等の、外に出ることは出来なかった。
・ 介護が必要な人を受け入れるという最低限の役割は果たせているが、それ以外に地域で必要とされる場面が作れていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 職員は、様々な場面で意見を出してくれている。それを、うまくまとめた上で、改めてミーティングの議題にし、話し合いを行って、全職員に周知させていく。
・ 本年度実施出来なかった公園掃除には、状況次第では、行っていく。実際にきちんと掃除出来るかどうかはともかく外出の機会ととらえて、気候のいい時期に行うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年　11月　12日（　　17：00　～　　18：00　　）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	中島・畑村・岡本・粟田・奥村・道森・平田・井町・藤田・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	17人	1人	人	18人

前回の改善計画
・事故報告書、ヒヤリハットを、もっと活用し、事故の防止に努める。対策をきちんと決定し、全職員に周知徹底していく。 ・誤薬も発生しているので、薬を保管場所から出した際、次回分の薬が揃っているかの確認も、併せて行い、防止する。 ・連絡事項の漏れをなくす為、口頭だけでなく、連絡ノートへの記入を今まで以上に増やし、確認しやすい状況にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ 誤薬は減少した。変更時の申し送り、連絡ノートの活用、メモを見やすい場所に貼る等の工夫の結果である。 ・ 事故報告書は、しっかりと活用されている。事故報告書の件数に対して、ヒヤリハットの件数が少なく感じる。実際にはヒヤリとしたが、報告書を書くまでもないと思った事例も多かったのではないかと推測される。 ・ 連絡事項に関しては、漏れは減ったとは思うが、根絶は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	15人	2人		18人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3人	8人	7人	18人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	3人	14人	18人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1人	14人	2人	1人	18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 職場内の勉強会は、毎月実施している。本年度から、各職員に順番に担当してもらっている。担当職員自身の勉強にもなっている。 ・ 事故報告書、ヒヤリハットには、目を通し、サインがなされている。 ・ 誤薬は減少した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 事故報告書やヒヤリハットを、各自確認してくれているが、それを全職員で話し合う機会をなかなか作れていない。 ・ 外部の研修には、ほとんど参加出来ていない。 ・ 申し送りで、内容が正確に伝わっていない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ ヒヤリハットの更なる活用を図る。ちょっとしたことでも、積極的に記入してもらい、他の職員への注意喚起を促し、事故を未然に防止するようにしていく。 ・ 職場内の勉強会は、本年度と同じく、各職員に順番に受け持ってもらうことにする。担当職員自身の勉強にもなっており、継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　2年　11月　12日（　　17：00　～　　18：00　　）
９．　人権・プライバシー	メンバー	中島・畑村・岡本・粟田・奥村・道森・平田・井町・藤田・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	12人	4人	人	18人

前回の改善計画

・接遇面のレベルを上げる。勉強会、マナーのチェックを行い、少しづつでも、各職員に浸透させていく。
言葉遣い、対応で気になる点があったら、その都度、伝えるようにしていく。本人も気付いてない場合もあるので、気付いてもらい、改善を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 勉強会で、接遇、倫理、コンプライアンスについて学ぶ機会は作った。しかし、全てが学んだ通りに実行出来ている訳ではない。更なるレベルアップが必要である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6人	12人			18人
②	虐待は行われていない	13人	4人	1人		18人
③	プライバシーが守られている	2人	14人	2人		18人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5人	11人	2人		18人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	12人	2人		18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ 身体拘束、虐待は現状では行われていない。やむをえず身体拘束を行わなければならない場合は、規定通りの手順を踏んで行うこととする。
・ 介護抵抗がある利用者に対しても、職員二人で対応し拘束はしないようにしている。
・ プライバシーは、利用者に危険性がある場合以外は、守るようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ 請求書を、間違って渡してしまったことあり。確認が不十分だった為、発生した事であった。
・ 職員の都合、緊急を要す場合にプライバシーを守れない場合あり。
・ 長い付き合いの利用者に対しては、馴れ馴れしさが出てしまう。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 接遇やコンプライアンスの勉強会は、繰り返し行い、レベルを上げていく。
・ 安全確保とプライバシー保護は、相反する要素であるので、どちらかに比重を置くともう片方が難しくなる。バランスを取りながら行っていく。